

第9編 公園編

第9編 公園編

第1章 公園設計

第1節 公園設計

1-1-1 公園設計の区分

公園設計の区分は下記のとおりとする。

- (1) 基本計画
- (2) 基本設計
- (3) 実施設計

1-1-2 基本計画

1. 業務目的

基本計画は、第1編 1-2-6 第2項に示す業務を、設計図書及び基本構想に基づいて検討し、公園緑地計画の概要を具体的に示すことを目的とする。

2. 業務内容

(1) 現況把握

受注者は、計画に先立って、現地を踏査し、計画区域及びその周辺地域の自然的、社会的、人文的条件について、現況を把握するものとする。

(2) 敷地分析

受注者は、現況把握により得られたデータを基に計画区域の特性をまとめ、問題点等を分析し、検討するものとする。

(3) 計画内容の検討及び設定

受注者は、下記の事項について検討及び設定するものとする。

1) 与条件の整理

計画内容の設定について、設計図書及び基本構想の内容等、計画の前提となる与条件について整理する。

2) 計画方針の設定

現況把握、敷地分析及び与条件整理に基づき計画策定上、留意すべき事項等を基本方針としてまとめる。

3) ゾーニング

計画方針、敷地条件、地域特性等を考慮し導入すべき機能をゾーンとして配置し、その規模、形状を定める。

4) 施設の配置計画

ゾーニングにもとづき、各々のゾーンが持つべき機能を有する施設を選定し、配置する。

(4) 基本計画図の作成

受注者は、上記項目の検討を踏まえ、計画区域において設定した機能及び施設の配置等を平面図等としてまとめること。

(5) 概算工事費の算出

受注者は、第1編 1-2-11 第5項に基づき、整備に必要な概算の工事費を算定するものとする。

(6) 基本計画説明書の算出

受注者は、設計業務の成果として、第1編 1-2-11 に準じて、基本計画の内容及びその検討過程について解説し取りまとめて記載した基本計画説明書を作成するものとする。

(7) 鳥瞰図及び透視図の作成

受注者は、基本計画図にもとづき、全体及び主要な部分について、立体図として仕上げるものとする。

3. 貸与資料

発注者が受注者に貸与する資料は下記を標準とする。

- (1) 基本構想資料
- (2) 地質調査資料
- (3) 測量調査資料

1 - 1 - 3 基本設計

1. 業務目的

基本設計は、第1編 1-2-6 第3項に示す業務を、設計図書及び基本計画の成果に基づいて検討し、実施設計の指標が明確となる概略の設計を行うことを目的とする。

2. 業務内容

(1) 与条件の細部検討

受注者は、与えられた条件及び各種調査結果を把握し、計画の細部について検討すること。

(2) 諸施設の検討及び設定

受注者は、与条件の細部検討に基づき、個々の施設について位置、規模及び内容を検討し、その概略構造を設定すること。

(3) 基本設計図の作成

受注者は、設定された施設の位置、規模及び内容等を平面図等としてまとめること。又、特に必要と指示された施設について概略構造図を作成すること。

(4) 概算工事費の算出

受注者は、第1編 1-2-11 第5項に基づき、整備に必要な概算の工事費を工種ごとに算定するものとする。

(5) 基本設計説明書の作成

受注者は、設計業務の成果として、第1編 1-2-11 に準じて基本設計の内容及びその検討過程について解説し取りまとめて記載した基本設計説明書を作成するものとする。

(6) 鳥瞰図及び透視図の作成

受注者は、基本設計図にもとづき全体及び主要な部分について、立体図

として仕上げること。

3. 貸与資料

発注者が受注者に貸与する資料は下記を標準とする。

- (1) 基本計画成果物
- (2) 地質調査資料
- (3) 測量調査資料

1 - 1 - 4 実施設計

1. 業務目的

実施設計は、第1編 1-2-6 第5項に示す業務を、設計図書及び基本設計の成果に基づいて検討し、工事の実施に必要な詳細図書の作成を行うことを目的とする。

2. 業務内容

(1) 与条件の確認及び調査

受注者は、下記の事項について確認及び調査するものとする。

- 1) 提示された計画の内容、背景等について設計図書及び資料により十分把握する。
- 2) 実施設計対象の施設等について現地踏査を行い位置、関連施設との整合を調査し、施設概要等示された与条件を照合、確認する。
- 3) 対象施設について必要な調査を行うとともに資料の収集を行う。

(2) 実施設計の検討

受注者は、設計対象物について 施工位置、 細部構造、 形状寸法、 材質、 工法、 施工時期を検討するものとする。

(3) 実施設計図作成

受注者は、上記各項目の検討を踏まえ工事を実施するため、下記の内容を図面としてまとめること。

- 1) 事業施工場所（施工位置）
- 2) 施工箇所現況及び撤去物
- 3) 施設等の配置
- 4) 施設、工種別の構造、形状
- 5) 施工法、仮設等
- 6) 施設別（単位当り）使用材料数量
- 7) 工事件名、作成年月日、作成者等

(4) 特記仕様書作成

受注者は、工事を実施するに当り図面を補完するため、必要な事項を特記仕様書としてまとめるものとする。

(5) 数量計算

1) 設計数量計算

図面及び工事仕様書にもとづき施工数量、材料数量を計算する。

2) 構造計算、容量計算

図面を作成する上で、必要に応じ、応力又は容量等について計算を行い、

設計の適正を確認する。

(6) 工事費算出

受注者は、第 1 編 1-2-11 第 5 項に基づき、工種別に工事費を算出し、工種別内訳書に取りまとめるものとする。

また積算の明細が必要な場合は、その根拠を明らかにする。

(7) 工期の算定

受注者は、工事の実施に要する期間を算定するものとする。

3 . 貸与資料

発注者が受注者に貸与する資料は下記を標準とする。

(1) 基本設計成果物

(2) 地質調査資料

(3) 測量調査資料

第2節 成果物

1-2-1 成果物

受注者は、下記に示す成果物を作成し、第1編 1-1-17 に従い納品するものとする。

表9-1-1 公園設計成果物一覧表

設計種別	設計項目	成果物項目	縮 尺	摘 要
基本計画	基本計画図の作成	位置図		
		計画平面図		
		概略構造図		
		その他図面		
	概算工事費の算出	概算工事費		概算数量
	基本計画説明書の作成	基本計画説明書		
	パース作成	パース		鳥瞰図、透視図
基本設計	基本設計図の作成	位置図		
		計画平面図		
		概略構造図		
		その他図面		
	概算工事費の算出	概算工事費		概算数量
	基本設計説明書の作成	基本設計説明書		
	パース作成	パース		鳥瞰図、透視図
実施設計	実施設計図の作成	位置図		
		平面図		
		構造図		
		その他図面		
	特記仕様書の作成	特記仕様書		
	数量計算	設計数量計算書		
		構造計算書、容量計算書		
	工事費算出	工事費算出書		工種別
工期の算定	工期算定書			